

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 新美 敢
幹事 堀江宏輝
会報委員長 魚津常義

No. 11

ロータリーに活力を——あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

1988～89年度 R I会長 ロイス・アビー

第303回例会 昭和63年9月13日(火) 晴

◇ “それでこそロータリー”

◇ 出席報告

会員 57名 出席 44名

出席 77.19%

前回 9月6日 (修正出席率) 100%

◇ ビジター紹介 3名

◇ お誕生日祝福

笹野夫人(9/16)、林君(9/17)

◇ ニコボックス

江南RC 廣瀬 正勝君 はじめて貴クラブを訪問させていただきました。

鈴木 理之君、杉浦 比左夫君 卓話をするにあたり。

新美 敢君 2ヶ月が過ぎました。ありがとうございます。

驚野 義明君

①太田様、9月夜はお通夜のため、御無礼いたしました。申し訳ございません。

②秋山様、四日市カントリーで、サンドウェッジを間違えました。申し訳ありません。

野村 義雄君 お役にもたなかつたのに盛大な慰労会を催して頂き、感謝感激です。

どうもありがとうございました。

林 淳三君 ホームクラブ御無沙汰いたしました。誕生日祝い。

秋山 茂則君、菊池 昭元君、小笠原 清君 早速させていただきます。

笹野 義春君 夫人誕生日祝い。

◇ 堀江幹事報告

1. 次週はガバナー公式訪問ですので、全会員の出席をお願い致します。又、10時よりクラブアSEMBリーを開催いたしますので、理事役員、各委員長の方は、芙蓉の間にお集まり下さい。

2. ロータリーの友9月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ 新美会長挨拶

先日天ぷらを食べに行きました。丁度時期ですので「きぬかつぎ」が最初に突き出しとして出て参りました。そこで今日は里芋の話です。

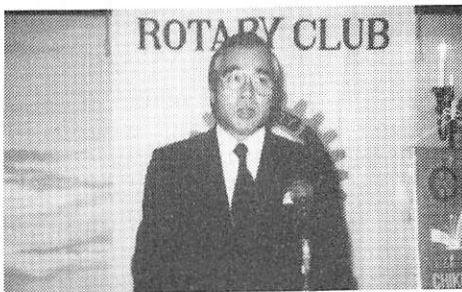
山芋が山に自生するのに対し、里で栽培する事から里芋と言われますが品種も多く、原産は熱帯アジアであります。親芋が大きくなって新しい球茎を産み、これが子芋、更に孫芋、曾孫芋(ひこいも)と言った具合が増えて行くことから子孫繁栄、子宝祈願など縁起物として正月料理その他色々な行事にもよく使われます。世間知らずの人をよく「芋の煮えたもご存じない」等といいますが、この「ご存じない」には父親と嫁が田楽になれば息子が正に「ご存じなかった」ことになり、入り婿と母親がいい仲になれば、その娘がご存じない訳で「田楽の串はへのこを使うなり」「何よりの孝行なことを養子する」どうも傍道へ逸れた様です。「きぬかつぎ」は子芋の皮を付いたまゝゆでたものを言いますが男の包茎つまり皮かぶりを「きぬかつぎ」等といい又すっぽんの頭も同じに例えます。昔江戸詰めの侍の所に国元の女房や妾から吉原(遊廓)が近いから、あなたは定めしよいことでしょうとリンキする書状が毎度来るので「お前たちが余りリンキするので思いきっておれの物を切り取った」と手紙を添えてすっぽんの頭を包んで国元へ送りました。妻と妾はそれを見て「こんな思い切ったことをなさろうとは、これがあればこそリンキもしたのに、お帰りになっても何の楽しみもない」と言って悲しみに暮れたのですが妾はその一物をつくづく眺め旦那様は真っ暗闇の時でもよくちゃんとお入れなさると思ったら、これ此に目が着いております。この皮かぶりは日本では昔から嫌う風習があり自分で皮を剥ける様に癖をつけます。皆さんよくご存じの通りで

す。無理すると首を括った様になり締めつけられる様になるのが本当の包茎と家庭の医学に書いてあります。青い目をした人種、外国人に多いと言う説がありますがよくわかりません。芋の茎を「ずいき」と称して、あの方では重宝がられ中でも肥後(熊本県)の産最もよし、と言われ「肥後ずいきむしゅうにえごくよがる也」とあります。この使用法は張り切っていないまゝ強く巻きつけると「せがれめは芋の殻にて首くり」と言う様な事になり、かの内で抜けてしまつては「手繰り出す抜けたずいきの馬鹿らしき」という事になりますのでご注意ください。「越前は肥後に加勢を頼むなり」と言うのがありまして、この越前の国は「越中がはずれて隣の国を出し」と言う様に越中(富山県)の隣りが越前(福井県)で、そこの殿様の槍に熊の皮の鞘袋がはめてあった事から皮かぶりの代名詞になったとあります。越前もずいきの助けがあれば向う者敵なしと言ったところでしょうか。どうも芋がほどよく煮えない儘、終わらせて頂く事になりました。

◇講 演

“私の職業について”

会員 杉浦 比左夫 君

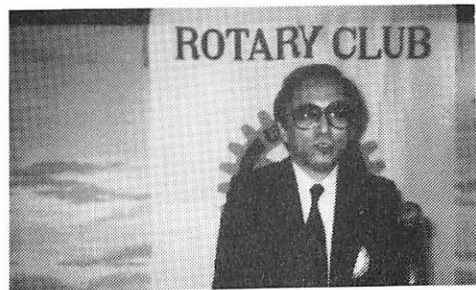


新入生の杉浦でございます。始めて自分の仕事について、皆様方にごあいさつ出来ます事をまずもって御礼を申し上げます。歴史と伝統に裏付けされました芸術度の高い御話は鈴木君からお話を伺う事と致しまして軽いお話をさせて戴きます。私は小牧ロータリークラブに14年程在籍させて頂きまして、職業は丸八物産という食品会社におりましたが、当クラブでは株式会社タスコという会社で登録させて頂きました。これは電話応答を仕事をしております。

詳しい事はお手許に配りましたパンフレットをお読み戴きますので皆様方の参考にして戴きたいと思ひます。

今後当社では新しい分野を開拓致しますので皆様方におかれましては御利用戴きたいと思ひます。(文責 魚津)

会員 鈴木 理之 君



只今の杉浦君のお仕事は限りなく未来へ向けて追求されているようですが、私共の家業は全く逆の方向で如何にして元禄時代に近づくかが問題です。「鼓」は能楽の発展と歌舞伎の発達により元禄期に完成され其の時代に作られた楽器が最高の道具として現在も舞台で使用されています。

私の家は明治20年頃開業されました。初代鈴木右膳重敏は尾張藩の武士でしたが当時中区の堀川端に「お船倉」と言い現在の造船所のような庭がありそこで漆の工法を身につけ、鼓の製法を思いついたようです。

私は4代目を継いでいます。私共の家には代々の商訓があります。「一つ客を騙すべからず」「一つ商品に掛値をするな親しい客でも一度つけた値額は絶対値引をするな」「一つ客に諂らうな妥協するな」以上の三点を基に信用信頼を第1に代々武家商法で商なって来ました。その結果は代替りの度に家、屋敷が失われてしまいましたが、お蔭さまで先代磯吉(鼓堂)は、その業績が国より認められ、「重要文化財選定保存技術」に指定されました。(無形文化財)

私は今日まで特定の方々とのみご交誼をいただいていたのですが此度当クラブに入会させて頂き各界でご活躍されている方々の仲間として認められたことに感謝いたしております。

附 追 鼓の素材

- 皮 生後3ヶ月程の仔馬の皮
- 胴 桜材の50センチ以上の材
- 調緒 麻

◇例会変更のお知らせ

名古屋和合R C 10/5(木)職場例会の為、サッポロビール(株)名古屋工場にてPM 12:30より

◇次回例会(9月20日)

ガバナー公式訪問の為、講演はございません。

◇次々回例会(9月27日)

講演 “演劇いまむかし”

(株)御園座社長(名古屋R C会員)

長谷川 真弘 氏(紹介 水野(民)君)